



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ビジョン 上場取引所 東
 コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)佐野 健一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員CFO兼管理本部長 (氏名)中本 新一 (TEL) 03-5325-0344
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,989	△7.4	488	△50.2	496	△49.4	116	△82.6
2019年12月期第1四半期	6,470	31.4	980	33.1	980	31.6	669	30.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 123百万円(△81.5%) 2019年12月期第1四半期 664百万円(34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	2.44	2.37
2019年12月期第1四半期	13.75	13.43

(注) 当社は2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	13,138	10,044	76.3
2019年12月期	15,173	10,905	71.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 10,021百万円 2019年12月期 10,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では連結業績予想の合理的な算出が困難であることから、2020年2月12日に公表した連結業績予想をいったん取下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	49,027,800株	2019年12月期	49,027,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	1,948,044株	2019年12月期	1,039,044株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	47,653,554株	2019年12月期 1 Q	48,685,069株

(注) 当社は2019年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響で経済活動が抑制され、急速に減速しています。同様に日本経済についても、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況となっています。先行きについても感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれ、内外経済を更に下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

このような経済環境のもと、当社グループは、速やかに事業ポートフォリオの見直し（情報通信サービス事業、日本国内におけるWi-Fiレンタル事業への注力）、及びコストの圧縮に舵を切り、損害を最小限に抑えるべく努めてまいりました。

しかしながら、旅行需要の急減速による影響を大きく受け、当連結累計期間における実績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益いずれも前年同期実績を下回りました。

	当連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,989	6,470	△480	△7.4
営業利益	488	980	△491	△50.2
経常利益	496	980	△484	△49.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	116	669	△552	△82.6

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

(グローバルWi-Fi事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本を含む多くの国において海外渡航制限や外出制限などの措置が取られたことにより、世界的に旅行需要は停滞し、当連結累計期間における日本人出国者数、訪日外国人数はそれぞれ、前年同期比39.6%減、51.1%減と大きく減少いたしました（出典：日本政府観光局（JNTO））。

このような環境の中、2月を境に新規の申し込みは大きく減少することとなり、既存の申し込みのキャンセルが相次ぎ、海外子会社においては政府の要請により休業を余儀なくされました。

この結果、当連結累計期間における売上高、セグメント利益はともに前年同期実績を下回りました。

グローバルWi-Fi事業	当連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,347	4,075	△727	△17.9
セグメント利益	326	871	△544	△62.5

影響を最小限に抑えるべく、アウトバウンド事業、インバウンド事業は一時的に縮小し、従量課金契約による通信原価の抑制、空港や物流関連における業務委託の縮小などにより、コスト削減に努めました。また、過剰人員を今後需要が見込まれる他事業への配置転換をしております。

一方で、政府の要請もあり、感染拡大の防止と従業員の安全確保を期し、テレワークを導入する企業が増加する中、国内における通信需要が高まり、日本国内におけるWi-Fiレンタル事業においては大きく売上を伸ばしております。

(情報通信サービス事業)

当事業では、新設法人・ベンチャー企業を主要ターゲットとし、企業の成長とニーズにあわせたアップセル・クロスセルを提案しております。当事業においては、WEBサイトからの問い合わせ対応やテレマーケティング営業に順次テレワークを取り入れ、訪問営業はテレビ会議による営業にスタイルを変えていくことで、外出自粛要請による営業機会の損失に対処してまいりました。

更に、テレワークを導入する企業が増加する中で、移動体通信機器やブロードバンドの需要が高まったことに加え、工事やホームページ制作の内製化推進による原価の低減、不要不急の費用支出の抑制による効果もあり、売上高・セグメント利益ともに前年同期実績を上回りました。

情報通信サービス事業	当連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,515	2,302	213	9.3
セグメント利益	517	482	35	7.3

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、13,138百万円(前連結会計年度末比2,034百万円減)となりました。

流動資産は、9,965百万円(前連結会計年度末比1,826百万円減)となり、その主な要因は、自己株式の買付及び法人税の支払等により現金及び預金が1,620百万円減少、売上減少に伴い受取手形及び売掛金が376百万円減少したことによるものです。

固定資産は、3,173百万円(前連結会計年度末比208百万円減)となり、その主な要因は、有形固定資産が77百万円減少、無形固定資産が145百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、3,094百万円(前連結会計年度末比1,174百万円減)となりました。

流動負債は、3,058百万円(前連結会計年度末比1,164百万円減)となり、その主な要因は、法人税の支払により未払法人税等が549百万円減少、賞与引当金が178百万円減少したことによるものです。

固定負債は、36百万円(前連結会計年度末比9百万円減)となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、10,044百万円(前連結会計年度末比860百万円減)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が116百万円増加した一方で、自己株式の取得により985百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、新型コロナウイルス感染拡大が収束する見通しが立っておらず、今後の業績予想についての適正かつ合理的な算定が困難であるため、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期の連結業績予想の数値については未定としております。今後、動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

このような状況の中、当社グループといたしましては、家賃の減免交渉や新規投資の抑制など、コスト削減と並行して事業ポートフォリオの転換を更に推し進め、今注力している商材に加え、SaaS(Software as a Serviceの略。クラウドで提供されるソフトウェア)を利用したビジネスコミュニケーションツールやウイルス対策商品の販売などの新たなサービスや商品の拡販に努め、事業基盤の強化をはかってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,485,363	6,864,380
受取手形及び売掛金	2,218,880	1,841,994
商品	137,781	197,749
貯蔵品	2,654	14,640
その他	1,014,524	1,107,953
貸倒引当金	△66,985	△61,004
流動資産合計	11,792,219	9,965,713
固定資産		
有形固定資産	1,200,166	1,122,176
無形固定資産	666,632	521,335
投資その他の資産		
その他	1,549,240	1,567,197
貸倒引当金	△34,683	△37,525
投資その他の資産合計	1,514,556	1,529,672
固定資産合計	3,381,355	3,173,183
資産合計	15,173,575	13,138,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,203,040	1,178,506
未払法人税等	634,399	84,492
賞与引当金	280,319	102,157
短期解約返戻引当金	39,538	45,650
その他	2,065,056	1,647,197
流動負債合計	4,222,353	3,058,005
固定負債		
その他	46,045	36,204
固定負債合計	46,045	36,204
負債合計	4,268,399	3,094,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,363,734	2,363,785
資本剰余金	2,396,192	2,396,243
利益剰余金	7,543,337	7,659,762
自己株式	△1,431,110	△2,416,784
株主資本合計	10,872,153	10,003,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,238	△3,417
繰延ヘッジ損益	18,791	21,182
為替換算調整勘定	1,124	1,220
その他の包括利益累計額合計	11,678	18,984
新株予約権	21,344	21,344
非支配株主持分	—	1,351
純資産合計	10,905,176	10,044,687
負債純資産合計	15,173,575	13,138,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	6,470,011	5,989,071
売上原価	2,672,101	2,736,391
売上総利益	3,797,909	3,252,679
販売費及び一般管理費	2,817,880	2,764,582
営業利益	980,029	488,097
営業外収益		
受取利息	571	278
受取配当金	1,500	1,500
為替差益	—	7,145
その他	1,422	2,466
営業外収益合計	3,494	11,391
営業外費用		
支払利息	16	2,172
為替差損	2,450	—
自己株式取得費用	—	767
その他	182	259
営業外費用合計	2,649	3,199
経常利益	980,874	496,289
特別損失		
投資有価証券評価損	—	22,656
事務所移転費用	—	7,070
減損損失	—	185,928
特別損失合計	—	215,654
税金等調整前四半期純利益	980,874	280,634
法人税、住民税及び事業税	251,384	78,807
法人税等調整額	60,176	86,050
法人税等合計	311,560	164,857
四半期純利益	669,313	115,777
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△648
親会社株主に帰属する四半期純利益	669,313	116,425

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	669,313	115,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,108	4,820
繰延ヘッジ損益	△3,166	2,390
為替換算調整勘定	△5,792	95
その他の包括利益合計	△4,850	7,306
四半期包括利益	664,463	123,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	664,463	123,731
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年2月21日開催の取締役会決議に基づき、市場買付けの方法により自己株式909,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が985,674千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,416,784千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,075,890	2,302,051	6,377,941	92,069	6,470,011	—	6,470,011
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	111	111	2,953	3,064	△3,064	—
計	4,075,890	2,302,162	6,378,052	95,022	6,473,075	△3,064	6,470,011
セグメント利益 又は損失(△)	871,297	482,276	1,353,573	△86,952	1,266,621	△286,591	980,029

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△286,591千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,347,954	2,514,565	5,862,519	126,551	5,989,071	—	5,989,071
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	1,368	1,368	—	1,368	△1,368	—
計	3,347,954	2,515,933	5,863,887	126,551	5,990,439	△1,368	5,989,071
セグメント利益 又は損失(△)	326,431	517,326	843,757	△91,408	752,349	△264,252	488,097

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△264,252千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産（のれんを含む）について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において185,928千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第1四半期連結累計期間において119,924千円であります。